

東京電力ホールディングス株式会社
福島第一原子力発電所

9:30

様式9-1(1/2)

応急措置の概要(原子炉施設)

(第22034報)

2021年2月17日9時23分

内閣総理大臣, 原子力規制委員会, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

第25条報告

報告者名 東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー
福島第一原子力発電所
原子力防災管理者 磯貝 智彦

連絡先 0240-30-9301

原子力災害対策特別措置法第25条第2項の規定に基づき、応急措置の概要を以下の通り報告します。

原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22
特定事象の発生箇所(注1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻(注1)	2011年(平成23年)3月11日 16時36分(24時間表示)
特定事象の種類(注1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第6条第4項第4号, 省令第21条第1項ロ)
発生事象と対応の概要(注2)	<p>(対応日時, 対応の概要) 本日8時53分頃、大型機器点検建屋内のダストサンプラ近辺に水たまりがあることを協力企業作業員が発見したとの連絡を受けました。</p> <p>状況は以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発見時刻 8時40分頃 ・発生場所(設備名称) 大型機器点検建屋内のダストサンプラ近辺 ・発見者 協力企業作業員 ・漏えい範囲 約50cm×50cm ・漏えい継続の有無 なし ・外部への影響 なし <p>現在、現場状況を確認しており、状況が分かり次第お知らせします。</p> <p>【公表区分：C】</p> <p>※添付の有り・無し</p>
その他の事項の対応(注3)	なし

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

(注1) 最初に発生した警戒事態該当事象の発生箇所、発生時刻、種類について記載する。

(注2) 設備機器の状況、故障機器の応急復旧、拡大防止措置等の時刻、場所、内容について発生時刻順に記載する。

(注3) 緊急時対策本部の設置状況、被ばく患者発生状況等について記載する。

東京電力ホールディングス株式会社
福島第一原子力発電所

10-41

様式9-1 (1/2)

応急措置の概要 (原子炉施設)

(第22035報)

2021年2月17日(10時35分)

内閣総理大臣, 原子力規制委員会, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

第25条報告

報告者名 東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー
福島第一原子力発電所
原子力防災管理者 磯貝 智彦

連絡先 0240-30-9301

原子力災害対策特別措置法第25条第2項の規定に基づき、応急措置の概要を以下の通り報告します。

原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22
特定事象の発生箇所(注1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻(注1)	2011年(平成23年)3月11日 16時36分(24時間表示)
特定事象の種類(注1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第6条第4項第4号, 省令第21条第1項口)
発生事象と対応の概要(注2)	<p>(対応日時, 対応の概要) 第22034報でお知らせした、大型機器点検建屋内のダストサンプラ近辺の水たまり発見について、その後の状況をお知らせします。</p> <p>当該水たまりのスミヤ測定を行った結果、バックグラウンドと同等であったこと、現場確認の結果、建屋内に放射性物質を内包する水を貯留している設備がないことから、9時44分雨水等の侵入と判断しました。</p> <p>【公表区分：その他】 雨水等と判断したことから、公表区分を「C」から「その他」に変更しました。</p> <p>※添付の有り・(無し)</p>
その他の事項の対応(注3)	なし

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

(注1) 最初に発生した警戒事態該当事象の発生箇所, 発生時刻, 種類について記載する。

(注2) 設備機器の状況, 故障機器の応急復旧, 拡大防止措置等の時刻, 場所, 内容について発生時刻順に記載する。

(注3) 緊急時対策本部の設置状況, 被ばく患者発生状況等について記載する。

東京電力ホールディングス株式会社
福島第一原子力発電所

12:41

様式0-1(1/2)

応急措置の概要 (原子炉施設)

(第22036報)

2021年2月17日 12時35分
内閣総理大臣, 原子力規制委員会, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

第25条報告

報告者名 東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー
福島第一原子力発電所
原子力防災管理者 磯貝 智彦
連絡先 0240-30-9301

原子力災害対策特別措置法第25条第2項の規定に基づき、応急措置の概要を以下の通り報告します。

原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22
特定事象の発生箇所(注1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻(注1)	2011年(平成23年)3月11日 16時36分(24時間表示)
特定事象の種類(注1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第6条第4項第4号, 省令第21条第1項ロ)
発生事象と対応の概要(注2)	<p>(対応日時, 対応の概要) 本日11時30分頃、3号機タービン建屋2階PCVガス管理システム塩害ハウス内に水たまりがあることを当社社員が発見しました。</p> <p>状況は以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発見時刻 11時30分頃 ・発生場所(設備名称) 3号機タービン建屋2階PCVガス管理システム塩害ハウス内 ・発見者 当社社員 ・漏えい範囲 約6m×3m×深さ3cm ・漏えい継続の有無 確認中 ・外部への影響 確認中 <p>漏えいした水は当該ハウス内にとどまっている。</p> <p>現在、現場状況を確認しており、状況が分かり次第お知らせします。</p> <p>【公表区分：C】</p>
その他の事項の対応(注3)	なし

※添付の有り・無し

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

(注1) 最初に発生した警戒事態該当事象の発生箇所、発生時刻、種類について記載する。

(注2) 設備機器の状況、故障機器の応急復旧、拡大防止措置等の時刻、場所、内容について発生時刻順に記載する。

(注3) 緊急時対策本部の設置状況、被ばく患者発生状況等について記載する。

東京電力ホールディングス株式会社
福島第一原子力発電所

13:11

様式0-1(1/2)
(第22037報)

応急措置の概要 (原子炉施設)

2021年2月17日13時05分

内閣総理大臣, 原子力規制委員会, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

第25条報告

報告者名 東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー
福島第一原子力発電所
原子力防災管理者 磯貝 智彦

連絡先 0240-30-9301

原子力災害対策特別措置法第25条第2項の規定に基づき、応急措置の概要を以下の通り報告します。

原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22
特定事象の発生箇所(注1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻(注1)	2011年(平成23年)3月11日 16時36分(24時間表示)
特定事象の種類(注1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第6条第4項第4号, 省令第21条第1項ロ)
発生事象と対応の概要(注2)	(対応日時, 対応の概要) 第22036報でお知らせした、3号機タービン建屋2階PCVガス管理システム塩害ハウス内の水たまり発見について、その後の状況をお知らせします。 当該水たまりのスミヤ測定を行った結果、バックグラウンドと同等であったこと、現場確認の結果、周辺に放射性物質を内包する水を貯留している設備がないことから、12時52分雨水と判断しました。 【公表区分：その他】 雨水と判断したことから、公表区分を「C」から「その他」に変更しました。
その他の事項の対応(注3)	なし

※添付の有り・無し

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

(注1) 最初に発生した警戒事態該当事象の発生箇所、発生時刻、種類について記載する。

(注2) 設備機器の状況、故障機器の応急復旧、拡大防止措置等の時刻、場所、内容について発生時刻順に記載する。

(注3) 緊急時対策本部の設置状況、被ばく患者発生状況等について記載する。

東京電力ホールディングス株式会社
福島第一原子力発電所

14:59

様式0-1(1/2)

応急措置の概要 (原子炉施設)

(第22038報)

2021年2月17日14時35分

内閣総理大臣, 原子力規制委員会, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

第25条報告

報告者名 東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー
福島第一原子力発電所
原子力防災管理者 磯貝 智彦
連絡先 0240-30-9301

原子力災害対策特別措置法第25条第2項の規定に基づき、応急措置の概要を以下の通り報告します。

原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22
特定事象の発生箇所(注1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻(注1)	2011年(平成23年)3月11日 16時36分(24時間表示)
特定事象の種類(注1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第6条第4項第4号, 省令第21条第1項ロ) (対応日時, 対応の概要) プラント関連パラメータ、タンクエリアパトロール結果等について、下記の通りお知らせいたします。
発生事象と対応の概要(注2)	<ul style="list-style-type: none"> ・プラント関連パラメータ [2月17日11時00分現在] ・集中廃棄物処理施設周辺サブドレン水 分析結果 [採取日 2月16日] ・構内排水路 分析結果 [採取日 2月16日] ・護岸地下水観測孔 分析結果 [採取日 2月12日、2月16日] ・海水分析結果<港湾内、放水口付近> [採取日 2月13日、2月16日] ・発電所敷地内におけるモニタリング結果について、前回のお知らせから有意な変動はありません。 ・タンクエリアパトロール及び汚染水タンク水位計による常時監視において、漏えい等の異常はありません。 ・建屋滞留水の移送状況について、パトロール及び警報監視において、漏えい等の異常は確認されません。 <p>サブドレン他水処理施設一時貯水タンクDの当社及び第三者機関による分析結果については、共に運用目標値を満足していたことから、2月18日に排水を実施します。 排水開始・終了の実績については、別途お知らせします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サブドレン・地下水ドレン浄化水 排水前分析結果 [採取日 2月13日] <p>【公表区分：その他】</p> <p>※添付の有り・無し</p>
その他の事項の対応(注3)	なし

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

(注1) 最初に発生した警戒事態該当事象の発生箇所、発生時刻、種類について記載する。

(注2) 設備機器の状況、故障機器の応急復旧、拡大防止措置等の時刻、場所、内容について発生時刻順に記載する。

(注3) 緊急時対策本部の設置状況、被ばく患者発生状況等について記載する。

2/11

福島第一原子力発電所 プラント関連パラメータ

2021年2月17日 11:00現在

(重要事項)
 各計測器については、地震やその他の物理量の変化の影響を受けて、通常の運用時と異なる値を示す場合があります。正しく測定されていない可能性のある計測器も存在している。プラントの状態を確認するために、このよう計測器の不確かさを考慮して、運転の許容範囲から得られる情報を活用して運転の維持にも留意して対応している。

	1号機	2号機	3号機	4号機
原子炉注水状況	給水系: 1.5 m ³ /h CS系: 1.5 m ³ /h (2/17 11:00 現在)	給水系: 1.4 m ³ /h CS系: 1.5 m ³ /h (2/17 11:00 現在)	給水系: 1.4 m ³ /h CS系: 1.5 m ³ /h (2/17 11:00 現在)	
原子炉圧力容器底部温度	VESSEL BOTTOM HEAD (TE-263-69L1): 14.5 °C 原子炉 SKIRT JOINT 上部 (TE-263-69H1): 14.1 °C VESSEL DOWN COMMER (TE-263-69G2): 14.1 °C (2/17 11:00 現在)	VESSEL WALL ABOVE BOTTOM HEAD (TE-2-3-69H3): 18.4 °C RPV温度 (TE-2-3-69R): 17.8 °C (2/17 11:00 現在)	スカートジャンクション上部温度 (TE-2-3-69F1): 18.0 °C RPV底部ヘッド上部温度 (TE-2-3-69H1): 16.6 °C (2/17 11:00 現在)	
原子炉格納容器内温度	HVH-12A RETURN AIR (TE-1625A): 14.1 °C HVH-12A SUPPLY AIR (TE-1625F): 14.1 °C (2/17 11:00 現在)	RETURN AIR DRYWELL COOLER (TE-16-114B): 19.3 °C SUPPLY AIR D/W COOLER HVH2-16B (TE-16-114G#1): 18.8 °C (2/17 11:00 現在)	格納容器空調機張り空気温度 (TE-16-114A): 18.5 °C 格納容器空調機供給空気温度 (TE-16-114F#1): 16.4 °C (2/17 11:00 現在)	
原子炉格納容器圧力	1.42 kPa g (2/17 11:00 現在)	4.44 kPa g (2/17 11:00 現在)	0.41 kPa g (2/17 11:00 現在)	
窒素封入流量 ※3	RPV (RVH-A): - Nm ³ /h (RVH-B): 15.48 Nm ³ /h (JP-A): 15.30 Nm ³ /h (JP-B): - Nm ³ /h PCV: - Nm ³ /h (2/17 11:00 現在) ※4	RPV-A: 6.80 Nm ³ /h RPV-B: 6.91 Nm ³ /h PCV: - Nm ³ /h (2/17 11:00 現在) ※4	RPV-A: 8.32 Nm ³ /h RPV-B: 8.70 Nm ³ /h PCV: - Nm ³ /h (2/17 11:00 現在) ※4	
原子炉格納容器ガス管理システム排気流量	21.9 m ³ /h (2/17 11:00 現在)	17.12 Nm ³ /h (2/17 11:00 現在)	17.90 Nm ³ /h (2/17 11:00 現在)	
原子炉格納容器水素濃度 ※1	A系: 0.00 vol% B系: 0.00 vol% (2/17 11:00 現在)	A系: 0.05 vol% B系: 0.04 vol% (2/17 11:00 現在)	A系: 0.07 vol% B系: 0.06 vol% (2/17 11:00 現在)	
原子炉格納容器放射能濃度 (Xe135) ※2	A系: 指示値 8.70E-04 Ba/cm ³ 検出限界値 3.60E-04 Ba/cm ³ B系: 指示値 - Ba/cm ³ 検出限界値 - Ba/cm ³ (2/17 11:00 現在) ※6 ※6	A系: 指示値 ND 検出限界値 1.4E-01 Ba/cm ³ B系: 指示値 ND 検出限界値 1.3E-01 Ba/cm ³ (2/17 11:00 現在)	A系: 指示値 ND 検出限界値 1.9E-01 Ba/cm ³ B系: 指示値 ND 検出限界値 1.9E-01 Ba/cm ³ (2/17 11:00 現在)	
使用済燃料プール水温度	24.2 °C (2/17 11:00 現在)	23.1 °C (2/17 11:00 現在)	18.6 °C (2/17 11:00 現在)	※5 (2/17 11:00 現在)
FPC 貯槽の水位	4.16 m (2/17 11:00 現在)	3.78 m (2/17 11:00 現在)	3.95 m (2/17 11:00 現在)	35.6 ×100mm (2/17 11:00 現在)

(1) 計測器に関する事項
 ※1: 指示値がマイナスの場合は0.00vol%と記載する。(水素濃度が検出限界値以下は、計測精度によりマイナスの値が示される場合があります)
 ※2: 放射能濃度管理システム管理システムの水素濃度管理精度を記載する。
 ※3: 検出限界値が検出限界値以下の場合、指示値がNDと記載する。原子炉格納容器排気流量 (No.135) を記載する。
 ※4: 検出限界値・圧力で監視している項目を記載する。
 ※5: 異常停止中
 ※6: 4号機格納容器排気流量計・水素濃度計・水素濃度計停止中
 ※7: 作業中に計測器が停止中

3/11

2021年2月17日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

集中廃棄物処理施設周辺サブドレン水 分析結果 (V)

採取地点	採取日時	分析項目		
		I-131 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
4号T/B建屋南東	採取中止	—	—	—
プロセス主建屋北東	2021/02/16 08:15	< 4.5E+00	< 5.8E+00	< 5.6E+00
プロセス主建屋南東	2021/02/16 08:10	< 4.2E+00	< 3.5E+00	< 4.4E+00
雑固体廃棄物減容処理建屋南	2021/02/16 07:40	< 5.5E+00	< 4.7E+00	< 4.7E+00
サイトバンカ建屋南西	—	—	—	—
焼却工作建屋西側	2021/02/16 07:18	< 5.5E+00	< 5.5E+00	5.6E+01
雑固体廃棄物減容処理建屋北	2021/02/16 07:22	< 4.7E+00	< 4.8E+00	< 4.2E+00
サイトバンカ建屋南東	2021/02/16 08:02	< 4.3E+00	< 4.1E+00	1.8E+01

・核種毎の半減期：I-131(約8日)、Cs-134(約2年)、Cs-137(約30年)

・不検号 (<:小なり) は、検出限界未満 (ND)を表す。

・測定対象外および採取中止の項目は「—」と記す。

・O.OE±0とは、 0.0×10^{-0} であることを意味する。

(例) $3.1E+01$ は 3.1×10^1 で31、 $3.1E+00$ は 3.1×10^0 で3.1、 $3.1E-01$ は 3.1×10^{-1} で0.31と読む。

・サイトバンカ建屋南西は、1回/週程度の頻度で分析を実施。

・採取中止理由：水位計不具合のため

2021年2月17日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

構内排水路 分析結果 (全β・γ)

採取地点	採取日時	分析項目		
		全β (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
A排水路	2021/02/16 07:20	1.8E+01	7.4E-01	1.8E+01
物揚場排水路	2021/02/16 07:25	6.0E+00	< 4.2E-01	2.5E+00
K排水路	2021/02/16 07:09	1.1E+02 ※2	3.7E+00	9.5E+01
BC排水路	2021/02/16 06:00	1.1E+01	< 5.8E-01	< 7.4E-01
5,6号機排水路※1	—	—	—	—

- ・核種毎の半減期：Cs-134(約2年), Cs-137(約30年)
- ・不等号 (< ; 小なり) は、検出限界値未満 (ND) を表す。
- ・測定対象外および採取中止の項目は「-」と記す。
- ・O.OE±0 とは、 $0.0 \times 10^{±0}$ であることを意味する。
(例) $3.1E+01$ は 3.1×10^1 で 31 , $3.1E+00$ は 3.1×10^0 で 3.1 , $3.1E-01$ は 3.1×10^{-1} で 0.31 と読み。
- ・採取当日の降雨量は 0 mm
- ・排水路流量情報は、解析中のため後日公表する。
- ※1 5,6号機排水路は1回/月に分析を実施。
- ※2 降雨の影響により上昇したと考えられる。

2021年2月17日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一原発推進カンパニー

護岸地下水観測孔 分析結果 (全β・H-3・Y・塩素)

(1/2)

観測地点	採取日時	分析項目												
		全β (Bq/L)	H-3 (Bq/L)	Mn-54 (Bq/L)	Co-60 (Bq/L)	Ru-106 (Bq/L)	Sr-125 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	塩素 (ppm)				
No.0-1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.0-1-2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.0-2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.0-3-1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.0-3-2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.0-4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.1	2021/02/12 07:30	2.6E+04	3.5E+04	< 2.6E-01	< 2.6E-01	< 2.6E+00	< 1.1E+00	4.2E-01	1.1E+01	-	-	-	-	-
No.1-6	2021/02/12 08:10	8.4E+05	9.9E+02	< 2.7E+01	4.2E+01	< 1.1E+03	< 5.9E+02	5.8E+03	1.2E+05	-	-	-	-	-
No.1-8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.1-9 *	2021/02/12 07:17	7.2E+01	5.6E+02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6.8E+01	-
No.1-11	2021/02/12 07:20	3.3E+01	9.9E+02	< 2.8E-01	< 3.3E-01	< 2.5E+00	< 1.1E+00	< 3.1E-01	4.6E+00	-	-	-	-	-
No.1-12	2021/02/12 08:15	1.0E+03	2.2E+04	< 7.0E-01	< 1.1E+00	< 1.7E+01	< 8.7E+00	1.6E+01	3.3E+02	-	-	-	-	-
No.1-14	2021/02/12 07:45	3.2E+04	3.6E+03	< 3.1E-01	< 2.7E-01	< 3.0E+00	< 1.2E+00	< 3.4E-01	2.0E+00	-	-	-	-	-
No.1-16	2021/02/12 08:20	2.3E+04	1.6E+02	< 3.4E-01	< 3.3E-01	< 3.4E+00	< 1.5E+00	< 4.4E-01	1.1E+01	-	-	-	-	-
No.1-17	2021/02/12 07:35	4.6E+04	3.6E+03	< 3.5E-01	< 3.7E-01	< 3.2E+00	< 1.1E+00	< 3.6E-01	4.0E+00	-	-	-	-	-

・核種の半減期：H-3(約12年), Mn-54(約310日), Co-60(約5年), Ru-106(約370日), Sr-125(約3年), Cs-134(約2年), Cs-137(約30年)

・不検出 (<: 小なり) は、検出限界未満 (ND) を表す。

・測定対象外および採取中止の項目は「-」と記す。

・O.O.E≠Oとは、O.O×10⁰であることを意味する。

(例) 3.1E+01は3.1×10¹で31, 3.1E+00は3.1×10⁰で3.1, 3.1E-01は3.1×10⁻¹で0.31と表す。

・H-3以外は瓶にお知らせ済み。

※1 No.1-9は、採水筒による採取であるため、V測定は実施せず、全βは参考値としてご連絡に判定。

6/11

護岸地下水観測孔 分析結果 (全β・H-3・Y・塩素)

(2/2)

観測地点	採取日時	分析項目												
		全β (Bq/L)	H-3 (Bq/l)	Mn-54 (Bq/L)	Co-60 (Bq/L)	Ru-106 (Bq/L)	Sb-125 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	塩素 (ppm)				
1,2号観測ポイント 汲み上げ水	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.2-2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.2-3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.2-5 *2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.2-6	2021/02/12 07:03	4.8E+02	5.9E+02	< 2.2E-01	< 2.7E-01	< 2.2E+00	< 7.6E-01	< 2.4E-01	9.2E-01	-	-	-	-	-
No.2-7	2021/02/12 07:10	4.3E+02	8.7E+02	< 3.3E-01	< 4.4E-01	< 3.1E+00	< 1.4E+00	< 4.1E-01	1.5E+00	4.9E+02	-	-	-	-
No.2-8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2,3号観測ポイント 汲み上げ水	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.3-2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.3-3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.3-4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.3-5 *2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3,4号観測ポイント 汲み上げ水	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

* 検体の半減期: H-3(約12年), Mn-54(約310日), Co-60(約5年), Ru-106(約370日), Sb-125(約3年), Cs-134(約2年), Cs-137(約30年)

* 不詳号 (<: 小なり) は、検出限界未満 (ND) を意味する。

* 測定対象外および採取中止の項目は「-」と記す。

* O.E±Oとは、 0.0×10^0 であることを意味する。

(例) $3.1E+01$ は 3.1×10^1 で31, $3.1E+00$ は 3.1×10^0 で3.1, $3.1E-01$ は 3.1×10^{-1} で0.31と読む。

* H-3以外は瓶にお知らせ済み。

* No.2-5, No.3-5は、採水器による採取であるため、Y測定は実施せず。全βは参考値としての過後に測定。

7/11

2021年2月17日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一原発推進カンパニー

護岸地下水観測孔 分析結果 (全β・γ・塩素)

(1/2)

観測番号	採取日時	その後の観測採取履歴							Cs-137 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	全β (pPM)
		全β (Bq/L)	Mn-54 (Bq/L)	Co-60 (Bq/L)	Ru-106 (Bq/L)	Sb-125 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)			
No.0-1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
No.0-1-2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
No.0-2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
No.0-3-1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
No.0-3-2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
No.0-4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
No.1	2021/02/16 07:20	2.6E+04	< 2.5E-01	< 2.9E-01	< 2.7E+03	< 9.3E-01	< 2.8E-01	3.0E+00	-	-	
No.1-6	2021/02/16 07:40	9.5E+05	< 3.3E+01	4.2E+01	< 1.1E+03	< 5.6E+02	6.0E+03	1.3E+05	-	-	
No.1-8	2021/02/16 07:05	1.0E+04	< 1.5E+00	< 1.8E+00	< 3.8E+01	< 1.7E+01	4.9E+01	1.1E+03	-	-	
No.1-9 ^{※1}	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
No.1-11	2021/02/16 07:00	2.5E+01	< 2.5E-01	< 3.4E-01	< 2.3E+00	< 9.4E-01	< 3.0E-01	2.4E+00	-	-	
No.1-12	2021/02/16 07:50	9.6E+02	< 8.1E-01	< 9.5E-01	< 1.6E+01	< 7.3E+00	1.7E+01	3.5E+02	-	-	
No.1-14	2021/02/16 07:55	3.4E+04	< 3.0E-01	< 3.3E-01	< 3.1E+00	< 1.4E+00	< 5.6E-01	1.1E+00	-	-	
No.1-16	2021/02/16 07:45	2.3E+04	< 3.1E-01	< 3.6E-01	< 4.3E+00	< 1.6E+00	< 4.6E-01	1.4E+01	-	-	
No.1-17	2021/02/16 07:25	5.0E+04	< 2.9E-01	< 2.8E-01	< 3.5E+00	< 1.6E+00	< 3.7E-01	6.7E+00	-	-	

・採取時の半減期：Mn-54(約310日)、Co-60(約5年)、Ru-106(約370日)、Sb-125(約3年)、Cs-134(約2年)、Cs-137(約30年)。

・不符号 (<:小なり)は、検出限界未満 (ND)を意味する。

・測定対象外および採取中止の項目は「-」と記す。

・O.OE≠Oとは、O×10⁰であることを意味する。

(例) 3.1E+01は3.1×10¹で31、3.1E+00は3.1×10⁰で3.1、3.1E-01は3.1×10⁻¹で0.31と読む。

※1 No.1-9は、採水器による採取であるため、汚染は実測せず。全βは番号値として正確に測定。

8/11

護岸地下水観測孔 分析結果 (全β・γ・塩素)

(2/2)

採取地点	採取日時	分析項目									
		全β (Bq/l)	Mn-54 (Bq/l)	Co-60 (Bq/l)	Ru-106 (Bq/l)	Sr-90 (Bq/l)	Cs-134 (Bq/l)	Cs-137 (Bq/l)	塩素 (ppm)		
1,2号観測ポイント 汲み上げ水	2021/02/16 07:15	1.3E+05	< 7.6E-01	< 5.3E-01	< 9.0E+00	< 3.0E+00	< 9.4E-01	8.9E+00	-	-	
No.2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
No.2-2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
No.2-3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
No.2-5 *2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
No.2-6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
No.2-7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
No.2-8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
2,3号観測ポイント 汲み上げ水	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
No.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
No.3-2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
No.3-3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
No.3-4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
No.3-5 *2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
3,4号観測ポイント 汲み上げ水	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

・検体の半減期: Mn-54(約310日), Co-60(約5年), Ru-106(約370日), Sr-90(約28年), Cs-134(約2年), Cs-137(約30年)
 ・不平等 (<:小なり) は、検出限界未満 (ND) を表す。
 ・測定対象外および採取中止の項目は「-」と記す。
 ・O.OE±0とは、 0.0×10^0 であることを意味する。
 (例) $3.1E+01$ は 3.1×10^1 で31, $3.1E+00$ は 3.1×10^0 で3.1, $3.1E-01$ は 3.1×10^{-1} で0.31と読み。
 ※2 No.2-5, No.3-5は、採水器による採取であるため、測定は参考値としてその後測定。

9/11

2021年2月17日

東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

海水分析結果<港湾内, 放水口付近> (全β・H-3・γ)

試料名称	採取日時	分析項目			
		全β (Bq/L)	H-3 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
1F 5,6号機放水口北側 (T-1)	2021/02/13 08:08	—	—	< 6.4E-01	< 6.1E-01
1F 6号機取水口前	2021/02/13 08:00	1.7E+01	—	< 4.3E-01	< 4.8E-01
1F 物揚場前	2021/02/13 07:40	< 1.4E+01	—	< 4.3E-01	< 4.9E-01
1F 1~4号機取水口内北側 (東波除堤北側)	2021/02/13 07:07	< 1.4E+01	—	< 4.8E-01	1.7E+00
1F 1~4号機取水口内南側 (漣水壁前)	2021/02/13 07:15	< 1.4E+01	—	< 4.8E-01	2.9E+00
1F 南放水口付近 (T-2) (注)	2021/02/13 06:45	1.1E+01	< 1.0E+00	< 7.2E-01	< 6.9E-01
1F 港湾口 (T-0)	2021/02/13 06:42	< 1.3E+01	—	< 4.2E-01	4.0E-01
1F 港湾中央	2021/02/13 06:38	< 1.3E+01	—	< 4.8E-01	< 4.8E-01
1F 港湾内東側	2021/02/13 06:40	1.7E+01	—	< 2.8E-01	< 2.8E-01
1F 港湾内西側	2021/02/13 06:36	< 1.3E+01	—	< 3.2E-01	5.8E-01
1F 港湾内北側	2021/02/13 06:34	< 1.3E+01	—	< 3.2E-01	< 3.2E-01
1F 港湾内南側	2021/02/13 06:44	1.4E+01	—	< 2.9E-01	< 3.5E-01
1F 北防波堤北側 (T-0-1)	—	—	—	—	—
1F 港湾口北東側 (T-0-1A)	—	—	—	—	—
1F 港湾口東側 (T-0-2)	—	—	—	—	—
1F 港湾口南東側 (T-0-3A)	—	—	—	—	—
1F 南防波堤南側 (T-0-3)	—	—	—	—	—
告示濃度限度*1			6.0E+04	6.0E+01	9.0E+01
WHO飲料水水質ガイドライン			1.0E+04	1.0E+01	1.0E+01

- ・核種毎の半減期：H-3(約12年), Cs-134(約2年), Cs-137(約30年)
- ・不等号 (<) は、検出限界値未満 (ND) を表す。
- ・測定対象外および採取中止の項目は「—」と記す。
- ・0.0E±0とは、 $0.0 \times 10^{\pm 0}$ であることを意味する。
- ・(例) $3.1E+01$ は 3.1×10^1 で31, $3.1E+00$ は 3.1×10^0 で3.1, $3.1E-01$ は 3.1×10^{-1} で0.31と読む。
- ・物揚場前は、シルトフェンス閉鎖を行った日は閉鎖実施後にもサンプリングを実施。
- ・H-3以外は既にお知らせ済み。

*1 東京電力株式会社福島第一原子力発電所原子炉施設の保安及び特定核燃料物質の防護に関する規則に定める告示濃度限度

(別表第一第六欄：周辺監視区域外の水中の濃度限度[本表では、 Bq/cm^3 の表記を Bq/L に換算した値を記載])

(注) 地下水(バイパス排水の翌朝採取した「南放水口付近海水」については、トリチウムの分析も行っている。

(2014年10月19日以降)

10/11

2021年2月17日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

海水分析結果<港湾内, 放水口付近> (全β・γ)

試料名称	採取日時	分析項目		
		全β (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
1F 5,6号機放水口北側 (T-1)	2021/02/16 08:30	—	< 6.4E-01	< 6.4E-01
1F 6号機取水口前	2021/02/16 08:15	1.5E+01	< 5.1E-01	1.1E+00
1F 物揚場前	2021/02/16 07:15	< 1.2E+01	< 5.2E-01	8.4E-01
1F 1~4号機取水口内北側 (東波除堤北側)	2021/02/16 07:20	1.6E+01	< 6.7E-01	1.0E+01
1F 1~4号機取水口内南側 (返水壁前)	2021/02/16 07:25	4.7E+01	1.1E+00	2.8E+01
1F 南放水口付近 (T-2)	2021/02/16 07:00	1.5E+01	< 6.9E-01	< 6.5E-01
1F 港湾口 (T-0)	2021/02/16 07:18	< 1.3E+01	< 5.4E-01	1.2E+00
1F 港湾中央	2021/02/16 07:14	1.3E+01	< 6.1E-01	1.5E+00
1F 港湾内東側	2021/02/16 07:16	1.5E+01	< 3.5E-01	1.5E+00
1F 港湾内西側	2021/02/16 07:12	1.5E+01	< 3.3E-01	8.1E-01
1F 港湾内北側	2021/02/16 07:10	1.7E+01	< 2.7E-01	1.3E+00
1F 港湾内南側	2021/02/16 07:20	< 1.2E+01	< 2.8E-01	1.1E+00
1F 北防波堤北側 (T-0-1)	—	—	—	—
1F 港湾口北東側 (T-0-1A)	—	—	—	—
1F 港湾口東側 (T-0-2)	—	—	—	—
1F 港湾口南東側 (T-0-3A)	—	—	—	—
1F 南防波堤南側 (T-0-3)	—	—	—	—
告示濃度限度 ^{*1}			6.0E+01	9.0E+01
WHO飲料水水質ガイドライン			1.0E+01	1.0E+01

・核種毎の半減期：Cs-134(約2年), Cs-137(約30年)

・不等号 (< ; 小なり) は, 検出限界値未満 (ND) を表す。

・測定対象外および採取中止の項目は「—」と記す。

・0.0E±0とは, 0.0×10^{±0}であることを意味する。

・(例) 3.1E+01は3.1×10¹で31, 3.1E+00は3.1×10⁰で3.1, 3.1E-01は3.1×10⁻¹で0.31と読む。

・物揚場前は, シルトフェンス開閉を行った日は開閉実施後にもサンプリングを実施。

※1 東京電力株式会社福島第一原子力発電所原子炉施設の保安及び特定核燃料物質の防護に関する規則に定める

告示濃度限度

(別表第一第六欄：周辺監視区域外の水中の濃度限度[本表では、Bq/cm³の表記をBq/Lに換算した値を記載])



2021年2月17日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

サブドレン・地下水ドレン浄化水 排水前分析結果

試料名称	採取日時	貯水量 (m ³)	分析機関	分析項目					その他 Y核種
				全β (Bq/L)	H-3 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	その他 Y核種	
一時貯水タンク (サンプルタンク)	D 2021/02/13 06:35	570	東京電力	< 1.9E+00	1.0E+03	< 7.2E-01	< 5.4E-01	検出なし	
			東北緑化環境保全(株)	< 3.2E-01	1.1E+03	< 7.9E-01	< 7.2E-01	検出なし	
運用目標				3.0E+00 (1.0E+00) ※1	1.5E+03	1.0E+00	1.0E+00	検出されないこと※2	
告示濃度限度※3				/	6.0E+04	6.0E+01	9.0E+01	/	
WHO飲料水水質ガイドライン				/	1.0E+04	1.0E+01	1.0E+01	/	

・核種毎の半減期：H-3(約12年), Cs-134(約2年), Cs-137(約30年)

・不等号 (< : 小なり) は、検出限界値未満 (ND) を表す。

・0.0E±0とは、0.0×10^{±0}であることを意味する。

(例) 3.1E+01は3.1×10¹で31, 3.1E+00は3.1×10⁰で3.1, 3.1E-01は3.1×10⁻¹で0.31と読む。

※1 運用目標の全βについては、10日に1回程度、検出限界値を1 Bq/L以下で分析を実施。

※2 Cs-134, Cs-137の検出限界値「1Bq/L未満」を確認する測定にて検出されないこと(天然核種を除く)。

※3 東京電力株式会社福島第一原子力発電所原子炉施設の保安及び特定核燃料物質の防護に関する規則に定める告示濃度限度

(別表第一第六欄：周辺監視区域外の水中の濃度限度[本表では、Bq/cm³の表記をBq/Lに換算した値を記載])

東京電力ホールディングス株式会社
福島第一原子力発電所

14:59

1/2

様式0-1(1/2)

応急措置の概要(原子炉施設)

(第22039報)

2021年2月17日14時35分

内閣総理大臣, 原子力規制委員会, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

第25条報告

報告者名 東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー
福島第一原子力発電所
原子力防災管理者 磯貝 智彦

連絡先 0240-30-9301

原子力災害対策特別措置法第25条第2項の規定に基づき、応急措置の概要を以下の通り報告します。

原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22
特定事象の発生箇所(注1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻(注1)	2011年(平成23年)3月11日 16時36分(24時間表示)
特定事象の種類(注1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第6条第4項第4号, 省令第21条第1項ロ)
発生事象と対応の概要(注2)	<p>(対応日時, 対応の概要)</p> <p>第8137報他でお知らせした、1号機放水路上流側立坑においてCs-137の濃度が上昇した事象、及び第10182報他でお知らせした、2号機放水路上流側立坑において全ベータ放射能及びトリチウム濃度が上昇した事象について、1号機及び2号機放水路立坑水の分析を実施しましたので、以下のとおり報告します。</p> <p>・1号機、2号機放水路 分析結果 [採取日 2月15日]</p> <p>今回の分析結果については、至近の分析結果と比較して有意な変動はありませんでした。今後も監視を継続していきます。</p> <p>【公表区分: その他】</p>
その他の事項の対応(注3)	なし

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

(注1) 最初に発生した警戒事態該当事象の発生箇所、発生時刻、種類について記載する。

(注2) 設備機器の状況、故障機器の応急復旧、拡大防止措置等の時刻、場所、内容について発生時刻順に記載する。

(注3) 緊急時対策本部の設置状況、被ばく患者発生状況等について記載する。

2/2

2021年2月17日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

1号機, 2号機放水路 分析結果

採取地点	採取日時	分析項目			
		全β (Bq/L)	H-3 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
1号機放水路立坑水	上流側	4.1E+03	1.7E+02	1.7E+02	3.3E+03
	下流側	2.3E+03	4.1E+02	3.2E+01	7.1E+02
2号機放水路立坑水	上流側	9.7E+02	< 1.1E+02	3.7E+01	7.1E+02
	下流側	1.1E+02	< 1.1E+02	< 6.7E+00	8.8E+01

・核種毎の半減期：H-3(約12年), Cs-134(約2年), Cs-137(約30年)

・不等号 (<:小なり) は, 検出限界値未満 (ND)を表す。

・測定対象外および採取中止の項目は「-」と記す。

・O.OE±Oとは, $O.O \times 10^{\pm O}$ であることを意味する。

(例) 3.1E+01は 3.1×10^1 で31, 3.1E+00は 3.1×10^0 で3.1, 3.1E-01は 3.1×10^{-1} で0.31と読む。

東京電力ホールディングス株式会社
福島第一原子力発電所

14:59

様式0-1(1/2)
(第22040報)

応急措置の概要 (原子炉施設)

2021年2月17日14時35分

内閣総理大臣, 原子力規制委員会, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

第25条報告

報告者名 東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー
福島第一原子力発電所
原子力防災管理者 磯貝 智彦
連絡先 0240-30-9301

原子力災害対策特別措置法第25条第2項の規定に基づき、応急措置の概要を以下の通り報告します。

原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22
特定事象の発生箇所(注1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻(注1)	2011年(平成23年)3月11日 16時36分(24時間表示)
特定事象の種類(注1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第6条第4項第4号, 省令第21条第1項ロ)
発生事象と対応の概要(注2)	(対応日時, 対応の概要) 第22029報でお知らせしたとおり、サブドレン他水処理施設一時貯水タンクGに貯水していた水について、本日以下のとおり排水を実施しました。 ・排水開始 : 10時29分 ・排水終了 : 13時17分 ・排水量 : 417m ³ 排水状況については、漏えい等の異常がないことを確認しております。 【公表区分:E】
	※添付の有り (無し)
その他の事項の対応(注3)	なし

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

- (注1) 最初に発生した警戒事態該当事象の発生箇所, 発生時刻, 種類について記載する。
- (注2) 設備機器の状況, 故障機器の応急復旧, 拡大防止措置等の時刻, 場所, 内容について発生時刻順に記載する。
- (注3) 緊急時対策本部の設置状況, 被ばく患者発生状況等について記載する。